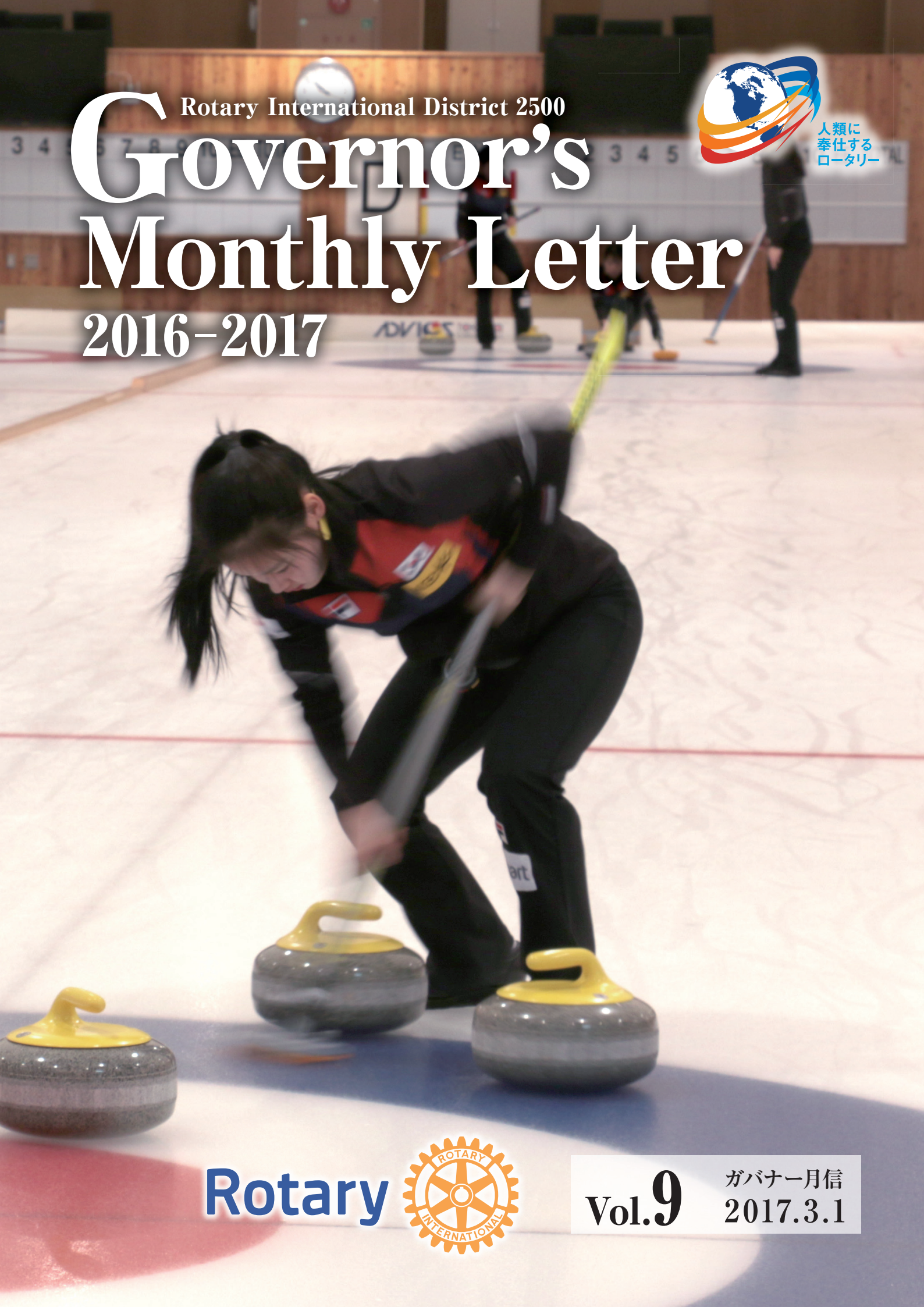
Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2016-2017



人類に奉仕するロータリー

Rotary

Vol.9

ガバナー月信
2017.3.1

CONTENTS

ガバナーメッセージ…… 1
VTT小委員会より …… 3
青少年委員会より…… 6
お知らせ・文庫通信…… 8
ロータリー財団寄付者・米山功労者・米山梅吉記念館便り … 9
物故会員・お知らせ……10
新入会員の紹介……11
ハイライトよねやま……12
コーディネーターNEWS ……14
米山奨学生紹介……15
例会出席率＆会員数推移……16
2016-2017アトランタ国際ロータリー年次大会ご旅行計画表

〈表紙写真〉
アドヴィックス常呂カーリングホールにて
韓国代表チーム合宿風景
撮影者／三浦　奈津美

ガバナーメッセージ

2016－17年度　国際ロータリー第2500地区ガバナー **駒形　曙美**

地区内クラブ会長、幹事の皆さん。寒さのピークも過ぎて、陽光が一段と明るく感じるようになりました。

先月5日東京代々木で、第9回全国RYLA研究会が開催されました。この研究会は、市川伊三夫委員長（昨年当地区の地区大会で、RI会長代理を務めたRI第2750地区P・G）が中心となって準備を進めてきたものです。

市川委員長は挨拶の中で、「今の世相は昭和初期の頃と類似する点が多く、世界の政治形態も不透明になってきました。

この風潮に拍車をかけているのが、新技術の革命的な進歩があり、どの国が経済的に優位な立場になるのか、判断できない状態になってきました。

私達は、今まで以上に若者と多くを語る必要があります。そして熟慮して最善の道を探していかなければなりません。

日本のRYLAが、活発な行動を展開し、世界のRYLAの中軸になるよう努力しようではありませんか。」と述べました。

全国RYLA研究会は、「日本に於けるRYLAの普及」が、その設立の目的です。現在日本の34地区の内、28地区が地区RYLAを開催しています。

全国RYLA研究会としては、RYLAは青少年交換のようなプログラムと違い、各地区で自由に青少年養成プログラムを企画することができる上、短期間の集中行事によって、一度に50名規模のRYLArianを育てることになり、このRYLArianが、ロータリーファミリーとなることを強調しています。

当地区としては、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）の開催を通じて、更にRYLAの意義と可能性が伝わるように、努力していきたいと思います。

年次基金寄付ゼロの「ゼロクラブ」をなくすために

今年度は、ロータリー財団創立100周年に当ります。日頃より財団に対して暖かいご理解とご協力を賜りありがとうございます。

大変恐縮ですが年次基金寄付金の納入については、年度末に集中すると事務処理が遅れて、当該年度の寄付実績とならない場合があって、所謂「年次基金寄付ゼロクラブ」扱いとなります。

特に対象となる「年次基金寄付」については、是非早めに納入して下さいますようお願い致します。

尚、ポリオプラスや恒久基金への寄付は、この対象となりませんので、ご留意下さい。

ガバナーメッセージ

水と衛生月間について

2014年10月RI理事会は、重点分野である「水と衛生月間」である3月を地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるためのプログラム支援、水と衛生に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間としました。

世界ローターアクト週間

1993年、RI理事会は、ローターアクトクラブの創立25周年を記念して、3月13日を含む週を「世界ローターアクト週間」として祝うことを、ロータリークラブとローターアクトクラブに奨励しています。（ロータリー章典41・020・5）

VTT小委員会より

地区補助金　D 3330 地区からの ＶＴＴ受け入れ　―水、ゴミ処理研修事業―

2016-17年度　第2500地区　VTT小委員会委員長 **久木　佐知子**

第2500地区のVTT委員会では、地区補助金を活用し、タイ国第3330地区より水、ゴミ処理技術者を受け入れ、研修事業（10月21日～30日）を実施致しました。

タイ国内では、水浄化に関しては依然として沈殿濾過方式の旧式の浄化であり、日本のような安全・安心な水浄化システムが求められています。ゴミ処理に関しても、皆さんがＴＶ等でご覧になったことのある通り、現在も埋設処分されています。

今回のプロジェクト予算は、地区補助金より1万ドル（102万円）、地区VTT特別会計より828, 284円の事業です。

タイ国第3330地区から受入れたのは以下の5名（下の写真の左から）です。

ＶＴＴチーム団長のＰＤＧ・ユタッキジ・マナジット（Yuttakij Manajit）氏（生コンクリート工場、ガソリンスタンド経営者）=Sithammasokarat RC会員=、

団員のカモンナウイン・インタヌチット（Kamonnawin Inthanuchit）氏（ソンクラ―ラチャパド大学環境科学講師）=Sanam-Chan RC=、

サラナウイット・ヘンプラプロン（Saranwit Hengpraprom）氏（カンチャナブリ県産業省の技術職員）= Karnjanavanit-Hatyai RC=、

パッテ―ラ・シリブロン（Patteera Siriburom）氏（タウィワッタナー地区官庁の清掃、公園セクション職員）=Kanchanaburi RC=、

ラチャポーン・シンカロタイ（Ratchaporn Singkarotai）氏（タイ環境研究所研究者）= Ploi Ratchaburi RC=。

団長以外はスポンサーRC名です。

VTTチーム　From D.3330　to D.2500

VTT小委員会より

Ⅰ. 水銀含有廃棄物等の処理、及びリサイクルシステム

10月24日（月）、北見市留辺蘂町で、使用済みの蛍光灯や電池から水銀を取り出し、リサイクルする日本で唯一の処理工場、野村興産(株)イトムカ鉱業所を訪れました。

ここは、かつては銀鉱山でしたが、資源の枯渇により廃棄物から資源を生み出す工場へと生まれ変り、現在では、含水銀廃棄物処理にとどまらず、多種多様な廃棄物を安全・適正に処理できる世界トップレベルの体制を構築しており、全国から運搬された廃棄物は、それぞれ最適な方法によって処理されています。

ＶＴＴ研修メンバーは早坂所長の説明を真剣に聞き、多くの質問をしていました。

視察中にはこの時期にはまだ早い初雪が舞い、南国からやってきた皆さんは寒さに震えながらも、初めての雪を楽しんでいました。

Ⅱ. 廃棄物処理、減量化、再資源化

10月25日（火）、旭川市役所で西川将人旭川市長を表敬訪問後、環境部から旭川市のゴミの分別や処理法などの説明を受け、研修先へ。廃棄物処理、リサイクル施設などを巡回し、ゴミ処理や減量化、再資源化への取組みなどを視察しました。

プラスチック容器の中間処理施設「リプラ・ファクトリー」では、市内で回収されたプラスチック容器をリサイクル事業者に引き渡す前に、異物を取り除き、圧縮梱包、保管する工程を視察しました。最初に実際に見つかった乾電池やカミソリ、医療用注射針などの異物の展示を見学。また、施設内では手選別コンベアでスチール、アルミ缶、非鉄金属、ペットボトル、ビン、その他、残さが人手で取り除かれる様子や、サイコロ状に圧縮梱包される作業工程を確認。メモや写真をとりながら説明に聞き入っていました。

次に旭川市廃棄物処理場を訪問。家庭系の燃やせないゴミや粗大ゴミ、焼却残さ、事業系一般廃棄物などの最終処理施設で、埋設地を見学した後、埋立地内で発生する浸出水の浄化の過程等を視察しました。続いて、近文清掃工場とリサイクルプラザを視察。

近文清掃工場では市内から運び込まれた一般ゴミが巨大なピッドに収集され、大型クレーンによって粉砕、混合され、高温焼却されるまでをコンピューター制御により管理している状況を見学。また、高温高圧蒸気により発電した電力は工場内の機械や冷暖房に利用する他、温水プール、ロードヒーティングなどの熱源にも使用し、余った電力は電力会社に送電するなど高効率エネルギーリサイクルの取組みを学びました。

リサイクルプラザでは、空き瓶や空き缶、家庭金物などの選別処理を視察。瓶は色ごとに手選別され、スチール缶は磁選機で、アルミ缶はアルミ選別機で選別後、資源化可能なものはリサイクル関連業者に売却され、残さは最終処分場へ送られるなどリサイクルのしくみを研修しました。

Ⅲ. 水浄化システムと下水処理のしくみ

10月26日（水）、旭川市には石狩川浄水場と忠別川浄水場の2つの浄水場があり、忠別川浄水場にて研修を行いました。忠別川浄水所の浄水能力は45,650立方メートル/日で、旭川市全体の約3割をまかなっています。水の浄化、水質データーや浄水場の各工程を視察し、遠隔地の取水上場や、沈砂池などカメラ映像で監視するシステムなど確認しました。

VTT小委員会より

旭川市下水処理センター（下水終末処理場）では、タイの下水処理の現状についてお話してもらい環境の違いを痛感する場面もありました。旭川市の職員からは「現在の旭川の下水処理体制を構築するのに30年近くの時間を要しました。環境にかかわる仕事をしているメンバーの皆さん、そして私たちは、次の世代のための仕事をしているという誇りをもってともに頑張っていきましょう」と励ましの言葉をいただきました。

Ⅳ　プラスチック製容器包装ゴミの再商品化

10月27日（木）、プラスチック製容器包装のリサイクル事業を手がける田中石灰工業（株）を訪問し、廃プラスチックが再商品化されるまでの工程や技術を視察しました。

一般家庭から排出され、異物を除去したプラスチック製容器包装ゴミを素材ごとに選別し、粉砕・洗浄・比重選別・脱水・乾燥などの工程を経て、3～5ミリ程度の粒子状のプラスチックペレットを製造。そのペレットを原料にリサイクルパレットや園芸ポットなどが再商品化されている現状を観察し、資源循環の取組みに関心を寄せていました。

Ⅴ. 事業所及び一般家庭のゴミ分別と拠出

旭川市では、事業所と一般家庭はどのようにゴミの分別し排出を行っているのかも確認しました。事業系は滞在しているホテルの分別の状況を担当者から説明を受けて、事業所内のゴミ集積場を見学。一般家庭では旭川市配布のゴミ収集カレンダーをもとに、どのようにゴミの排出をしているのか、旭川市指定のゴミ袋やゴミの種類により排出の仕方も違う点等の説明を受けました。

旭川市内の家庭ゴミは、有料化や分別の拡大などもあり減少していますが、依然として悪質な違反ゴミも見られます。分別によりリサイクル率を高め、再資源化が可能なことなど熱心に学びました。

研修チームは滞在中に地区大会に参加し、旭川西RCの例会をはじめ、旭川東北RC、旭川東RC、旭川モーニングRCの三クラブ合同例会にも出席し、心温まる歓迎を受けました。チームメンバーからは、喜びと感謝の声が寄せられています。

最後に、今回の研修では北見市と旭川市に大変お世話になりました。行政、各関係機関、また、多くのロータリアンの皆さんにご協力をいただき有意義な研修事業を実施することができました。

関係各位に深く感謝申し上げ、VTT事業の報告とさせていただきます。

青少年委員会より

国際ロータリー第2500地区⇔第3590地区 日韓青少年交換事業を終えて

国際ロータリー第2500地区　青少年委員会　委員長　**主藤　雅裕**

RI2500地区とRI3500地区との日韓青少年交換事業が本年1月16日～20日までの4泊5日の日程で開催し、無事終了することが出来ました。改めて両地区の関係された役員の皆様、ホームステイを引き受けて頂いた北見３ロータリークラブの会長・幹事、ホストファミリーの皆様やプログラムで訪問させて頂いた施設関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。この事業はRI3590姉妹地区とRI2500地区での青少年交換事業を通じて、隣国との青少年が交流し、異文化に触れると共に人的交流を深め、日韓の次代を担うかけはしと成りうる人材の育成に寄与することを目的に、いくつかの変遷を辿りながらも長きに渉り継続して行ってきた事業です。

昨年10月21日の地区大会での姉妹地区歓迎会終了後、日韓の関係者で打ち合わせを行い、従来の訪問団が10名程度だった規模を縮小して訪問団が6名（引率ロータリアン1名を含む）となり、その場で訪問時期を本年1月中旬と決め、委員会として本格的作業が始まったのが11月、約2か月半で企画のすべてを準備しました。ホストファミリーを探しホームステイ先にご承諾頂き、プログラムを組む中で訪問先との打ち合わせなど、年末の慌ただしい時期に対応して頂き何とか無事に迎えることが出来ました。

プログラム前日に釜山から新千歳空港へ降り立ち、雪の降る札幌を満喫した韓国訪問団は翌1月16日にJRにて北見駅に到着、その晩の歓迎会で初顔合わせを行い翌日から本格的なプログラムが始まりました。北見市役所へ表敬訪問や北見神社での参拝、北見藤女子高等学校の全面的なご協力の下、同年代との交流をしながら茶道体験や折り紙、翌日の藤女子高カーリング部とのカーリング体験、山の水族館やハッカ記念館の見学、更には老人福祉施設への慰問し、お年寄りの方々と浴衣を着て盆踊りをするなど年齢層の異なった人的交流、日本文化に触れながら多くの体験をして頂きました。最終日はスキー場でのソリ滑り、極寒のオホーツクが体感できる網走流氷館や寒風吹き荒れる能取岬で直にオホーツク海を眺め、地域の気候風土を満喫して頂きました。旅程の中2日間を北見3クラブにお願いし、５軒にそれぞれ1名ホームステイの受け入れをして頂きました。言葉の通じない中で2夜を過ごし、さぞ不安だったと

能取岬

そり滑り　若松スキー場

青少年委員会より

思いますが、さすがに若い韓国青少年、携帯電話の翻訳アプリを使いこなし、すぐに打ち解け和気あいあい、受け入れ家族のご尽力の甲斐もあって滞在も充実したものとなりました。最後の夜は送別会で北見ローターアクトクラブのご協力でゲームをしながら歓談し、帰路に発つホテルでの別れの朝はホームステイ家族のお見送りもあり、互いになごり惜しくあっという間の5日間でした。

本事業を通じて日韓の絆が生まれた実感が深い情と共に湧き上がり、委員会メンバー一同貴重な体験が出来ました。改めて本事業を担当させて頂いたことに感謝と御礼を申し上げます。

姉妹地区委員会委員：邵　龍珍（釧路RC）
青少年委員会委員：川端　正幸（帯広北RC）・本間　信一（網走RC）・青山　央和（北見RC）

※本事業は2500地区HPでご覧いただけます。（http://rid2500.jp）

お見送り　ホテル黒部

お見送り　坂井さん　ラブマーク

カン・ミンス君ともあちゃん

2017-2018年度第1回ガバナー補佐研修会議

2017-2018年度第１会ガバナー補佐会議が2月10日(金)16:00～17:30網走セントラルホテルにおいて２１名の参加で下記プログラムにより開催された。

1. 開会の挨拶　駒形曙美ガバナー
2. 参加者紹介　本間公三次期地区幹事
3. 委嘱状交付　成瀬則之ガバナーエレクト
4. 2017-2018年度RI会長ならびに地区ガバナー運営方針について　成瀬則之ガバナーエレクト
5. 研修リーダー講話　東堂　明地区研修リーダー
6. 地区Ｒ財団委員長より　奥　周盛地区Ｒ財団委員長
7. 2017-2018年度地区予算について　高田　巧次期財務委員長
8. ガバナー補佐へのお願い　本間公三次期地区幹事
9. 質　問

文庫通信（353号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

忘れ得ぬロータリアン（２）

◎「ポール・ハリスの合理的ロータリアニズム」	ポール・ハリス　2010　8p
◎「ポール・ハリスの言葉から」	佐藤千壽　横浜鶴見西R.C.　1976　53p
◎「ロータリー・クラブ」	米山梅吉 社會教育協會 1929　20p
◎「父 米山梅吉のこと」	米山桂三　1963　4p
◎「ロータリーと父　米山梅吉」	米山桂三　東京南R.C.　1972　8p
◎「人間米山梅吉を大いに語る(その1～3)」	米山記念奨学会　1986　〔22p〕 (「よねやまだより」より抜粋)
◎「夫 福島喜三次のこと」	福島朝子　1963　4p
◎「日本ロータリー再建の頃（1～7） － ジョージ・ミーンズ回顧録 －」	ジョージ　R.ミーンズ　1976～77　〔27p〕
	［上記申込先：ロータリー文庫］
◎「ロータリーへの道　三訂版」	ポール・ハリス著；柴田實訳　成田R.C. 2011　372p ［申込先：成田 R.C.　FAX(0476)33-8786］
◎「ロータリアン福島喜三次傳 （日本ロータリーの曙）」	蒲原権編　有田R.C. 1986　102p ［申込先：有田 R.C.　FAX(0955)43-3140］

ロータリー文庫

〒 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

ロータリー財団寄付者

寄付の種類	名　前	クラブ名	寄付の月日
MPHF4回目	桑原　義彦	旭川モーニングロータリークラブ	11月29日
MPHF4回目	高見　一典	旭川モーニングロータリークラブ	11月29日
MPHF3回目	脇坂　慎一	旭川モーニングロータリークラブ	11月29日
MPHF2回目	小柳　裕子	旭川モーニングロータリークラブ	11月29日
MPHF2回目	嵯城　俊明	旭川モーニングロータリークラブ	11月29日
MPHF8回目	竹村　陽子	旭川モーニングロータリークラブ	12月28日
PHF	笹川　和廣	旭川モーニングロータリークラブ	12月28日
ベネファクター2回目	河﨑高麗男	旭川モーニングロータリークラブ	11月29日
ベネファクター	小川　伸治	旭川モーニングロータリークラブ	11月29日
PHF	川村　寿裕	旭川西ロータリークラブ	9月28日
MPHF4回目	吉良　徹	旭川西ロータリークラブ	12月20日
MPHF1回目	川村　寿裕	旭川西ロータリークラブ	12月20日
MPHF2回目	太田　英司	旭川東ロータリークラブ	12月16日
MPHF1回目	木俣　一朗	旭川東ロータリークラブ	12月16日

寄付の種類	名　前	クラブ名	寄付の月日
PHF	青木　順成	旭川東ロータリークラブ	12月16日
MPHF1回目	前田　高志	旭川東ロータリークラブ	12月16日
MPHF3回目	會田　敏雄	旭川東ロータリークラブ	12月16日
PHF	高嶋　義昭	旭川東ロータリークラブ	12月16日
PHF＋2	濁沼　一三	美瑛ロータリークラブ	12月22日
年次ーシェア	大塚　一博	美深ロータリークラブ	12月26日
年次ーシェア	坂井　弘明	美深ロータリークラブ	12月26日
年次ーシェア	市村　匡史	美深ロータリークラブ	12月26日
PHF＋3	新田　潔	帯広ロータリークラブ	12月27日
メジャードナー	大友　広明	帯広西ロータリークラブ	11月30日
PHF＋6	奥　敏則	帯広西ロータリークラブ	11月30日
PHF＋4	笹井　祐三	帯広西ロータリークラブ	11月30日
PHF＋3	奥田　頼昌	帯広西ロータリークラブ	11月30日
PHF＋1	熊切　宏樹	帯広西ロータリークラブ	11月30日

米山功労者

名　前	クラブ名	寄付の月日
東郷　正晴	旭 川 西	10月19日（1回・米山功労者）
井内　治弥	旭 川 北	10月26日（9回・米山功労者マルチプル）
友重　正親	旭川モーニング	12月26日（8回・米山功労者マルチプル）

名　前	クラブ名	寄付の月日
飛弾野正幸	旭川モーニング	12月26日（2回・米山功労者マルチプル）
嵯城　俊明	旭川モーニング	12月26日（1回・米山功労者）
山岸　眞理	名　寄	12月29日（5回・米山功労者マルチプル）

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑦米山梅吉の横顔

米山梅吉が社長を務めた三井信託株式会社は大正13年3月創業です。当時、信託は馴染みが薄かったのですが、信託業は預けた人のために預かったものを管理運営して利益を還元する奉仕（サービス）であるとお考えだったようです。

三井信託銀行社長当時、米山梅吉が使用していた机と椅子（三井信託銀行）
現在は米山記念館ロビーにあります。

当時の思い出として後に信託の社長になられた林賢材さんは「信託会社は営利会社ではあるが、サービスを主眼とせねばらぬと度々諭された。後年三井報恩会の理事長として幾多の社会事業を育成されたことを思い、米山さんは社会事業家としても有数の方であった」と書かれています。三井信託での10年間を終え、66歳から三井報恩会の理事長に就任しました。

春季例祭ご案内 | 平成29年4月22日（土）午後2時～　式典／講演会
米山梅吉記念館
登録料無料　アトラクションあります。
多くの皆様ご参加ください。

米山梅吉関連図書の紹介

B５判　記念館35周年記念誌
本文268ページ／2,500円

米山梅吉の跫音　記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。
資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

公益財団法人 **米山梅吉記念館**
〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL http://yoneyama-umekichi.jp
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp
［開館時間］午前10時～午後4時
［休 館 日］月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日（5月・8月の特定日）

物故会員

第6分区　帯広西ロータリークラブ

千葉　清孝
（管工事）

1991年7月　入会
1993年　職業奉仕担当理事
2001年　会計
2004年　国際奉仕担当理事
2006年　職業奉仕担当理事
2007年　副会長

2017年1月25日逝去（71歳）

第5分区　北見東ロータリークラブ

正者　俊一
（眼鏡販売）

1993年1月　北見東RC　入会
2002年7月　幹事
PHF／米山功労者
2005年7月　副会長
2008年　MPHF１回目
2011年7月　会長エレクト
2012年7月　会長
2015年7月　SAA

2017年1月30日逝去（68歳）

第5分区　北見西ロータリークラブ

高谷　智
（機械整備）

1974年　1月 北見西ＲＣ入会
1984年　7月 社会奉仕委員長
1990年　7月 社会奉仕委員長
1992年　7月 雑誌委員長
1997年　7月 広報委員長
2002年　7月 出席委員長
2004年　7月　国際奉仕委員長
1998年 ＰＨＦ・
2004年 ＭＰＨＦ　１回目

2017年2月2日逝去（83歳）

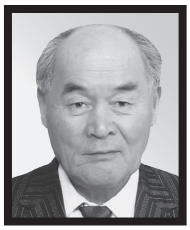
第6分区　広尾ロータリークラブ

魚井　郁生
（クラブ経営）

1975年3月　入会
1979年　社会奉仕青少年委員長
第1回日勝少年野球大会開催
1981年　幹事（理事）
1989年　会長（第28代）
2001月　幹事（理事）
2005年　会長（第44代）
2013年　幹事（理事）
2016年　会長（第55代）
第38回日勝少年野球大会
開催（8/6、7）

2017年1月9日逝去（83歳）

第5分区　清里ロータリークラブ



小松　晃
（電気工事）

1980年7月　入会
1988年　P.H.F受賞
1988年　幹事
1990年　会長

2016年12月20日逝去（81歳）

お知らせ

●釧路南ロータリークラブ　会長変更

会　長　長井 一広（ながい かずひろ）
職業分類：建築外構業
会社　道東実業(株) 常務取締役
〒085-0057 釧路市愛国西１－31－21
TEL 0154－37－1511　FAX0154－7－1513
自宅　同上

●2017年3月のロータリーレートは
１ドル＝116円

ホームページを公開しています
http://rid2500.jp

新入会員の紹介

2017.1.1 以降入会分

■第3分区
旭川東北ロータリークラブ
成田　修
●水道工事
●昭和46年7月6日生
●1月5日入会

■第3分区
旭川西ロータリークラブ
生駒光宏
●土木
●昭和44年6月20日生
●1月10日入会

■第3分区
旭川西ロータリークラブ
菊池ミオ
●居酒屋
●昭和47年7月17日生
●1月10日入会

■第3分区
旭川西ロータリークラブ
Stephen King
●翻訳業
●昭和50年6月1日生
●1月10日入会

■第3分区
旭川西ロータリークラブ
北條こより
●人材派遣
●昭和51年12月8日生
●1月24日入会

■第3分区
旭川北ロータリークラブ
寺島信寿
●菓子販売
●昭和40年2月23日生
●1月11日入会

■第3分区
旭川北ロータリークラブ
米内山勝継
●広告業
●昭和48年10月4日生
●1月11日入会

■第3分区
富良野ロータリークラブ
段　禎文
●建機運輸
●昭和36年9月8日生
●1月12日入会

■第3分区
美瑛ロータリークラブ
小形健一
●建築工事
●昭和49年7月3日生
●1月16日入会

■第5分区
美幌ロータリークラブ
宮崎　聡
●石油販売
●昭和50年11月7日生
●1月1日入会

■第5分区
斜里ロータリークラブ
窪田篤弘
●司法書士
●昭和49年4月4日生
●1月11日入会

■第5分区
清里ロータリークラブ
岩井真一
●家電販売
●昭和47年8月13日生
●1月5日入会

■第6分区
音更ロータリークラブ
早川靖志
●ファイナンシャルプランナー
●昭和50年5月8日生
●1月11日入会

■第6分区
音更ロータリークラブ
久保　明
●介護事業
●昭和36年11月20日生
●1月11日入会

■第7分区
釧路北ロータリークラブ
松下貴志
●建築資材
●昭和40年1月2日生
●1月18日入会

■第7分区
釧路北ロータリークラブ
星　耕輔
●清掃業
●昭和54年5月26日生
●1月25日入会

■第7分区
釧路ロータリークラブ
吉田英一
●不動産賃貸業
●昭和40年10月6日生
●2月9日入会

■第7分区
音別ロータリークラブ
星野継二郎
●医療
●昭和42年12月7日生
●1月1日入会

■第7分区
音別ロータリークラブ
川口恭弘
●運輸・郵便
●昭和46年8月25日生
●1月1日入会

ハイライトよねやま 203

2017 年 2 月 13 日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 ― 下期の寄付状況 ―

1 月までの寄付金は前年同期と比べて 5.6%減（普通寄付金 2.6%増、特別寄付金 9.8%減）、約 6,100 万円の減少となりました。前年度と比較すると減少額は大きいですが、累計金額としては直近 5 年間のほぼ平均額となります。

1 月は普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付）下期分の納入が主になります。今年度は 1 月末までに全クラブの 76%、1,718 クラブから納入いただきました。引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

2017 学年度米山奨学生の選考を全地区で実施

2017 年 4 月採用の新規米山奨学生の面接選考が 12 月から 1 月末にかけて、全国 34 地区の各選考委員会によって行われました。指定校からの申込者 1,358 人のうち、学部・修士・博士課程奨学金と地区奨励奨学金を合わせた 586 人（枠）が合格予定です。現在まで報告を受けた合格者の出身国・地域は、中国、ベトナム、韓国、台湾、モンゴル、マレーシアなどが多くなっています。

今後、他の奨学金合格等による辞退・繰上げによって、人数と国籍の変動が見込まれます。このほか、現役奨学生の延長制度であるクラブ支援奨学金には 2 人が合格しました。海外からの個人直接応募制度の海外応募者対象奨学金、および、海外学友会推薦奨学金は現在選考中です。2017 学年度の奨学生数は、新規合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた 780 名（枠）となります。

副理事長就任のお知らせ

前副理事長、杉谷卓紀氏（玉名ＲＣ）のご逝去に伴い、当財団規程に基づき、役員候補者指名委員会で副理事長候補者を選任し、理事会にて承認されました。

2017 年 2 月 1 日付で、塙（はなわ） 東男（はるお）氏（第 2820 地区 笠間ＲＣ、現常務理事）が公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 副理事長に就任しましたことをお知らせいたします。

貧困学校支援プロジェクトを実施 ― タイ米山学友会 ―

タイ米山学友会が 1 月 21 日、タイ国中部のスパンブリー県にあるワットブングカー学校を訪問し、「貧困学校支援プロジェクト」を実施しました。参加者は、タイ米山学友会の会員 12 人と、その家族・友人ら、合わせて 28 人。ワットブングカー学校からは、教職員 4 人と、児童 40 人が参加しました。

当日は、タイ学友会の会員をはじめ、企業や一般の方からの支援で集まった、現金や文房具、制服、スポーツ用品など、勉強と生活に必要なものが児童たちに提供されました。また、参加者は、児童たちと一緒にゲームをしたり、お菓子やアイスを食べたりして、交流を楽しみました。

タイ米山学友会幹事のワシン・テイシャシャイニランさんは、「勉強する環境に困ることなく、子どもたちの輝く未来を願っています」と、活動に参加した学友たちの思いを報告してくれました。

スリランカ米山学友会が第１回総会を開催

スリランカ米山学友会の第１回総会が１月７日、コロンボ郊外のマハラガマで開催され、ラクナース・ガマゲ会長（1993-95／宇部西ＲＣ）をはじめ学友７人が出席しました。

総会では１年間の活動報告のほか、今後の総会開催時期について検討がなされました。また、幹事長補佐をつとめるサマンタ・テリッジャゴダさん（2000-01／羽島ＲＣ）が、学生に向けたＩＴ関連セミナーを行うことが決まりました。これは、日本留学で得た知識をスリランカの若者へ伝えていきたいという、学友会としての活動提案です。このほか数人の学友が役員に任命されました。

ラクナース会長は、居住地が離れているなどの理由で学友が集まりにくい実情をふまえたうえで、「われわれの学友会の価値を高め、より魅力的な存在となるために、今いるメンバーのさらなる努力が必要だ」と訴え、「個人レベルではなく、学友会という組織だからこそできるような活動をやっていこう」と、熱心に呼び掛けました。

創立１周年を迎える今年６月には、記念式典を開くとのことです。

第 2620 地区学友会がスリランカの子どもに文具寄贈

第 2620 地区（静岡県・山梨県）米山学友会では、副会長のペレーラさんの提案で、彼の母国スリランカの子どもたちに文房具を寄贈する奉仕活動を企画。学友会会員のほか、ロータリークラブや個人などから合計 22 万円の寄付を集め、それを元に 129 人分の文房具セットと鍵盤ハーモニカなどの楽器、図書館の図書 908 冊を購入し、現地の小学校に寄贈しました。

１月 13 日にスリランカ北部エリヤーワ村の小学校で行われた贈呈式には、同学友会役員４人と学友会に関わりの深いロータリアン２人を合わせ計６人が出席。一行は、全校生徒と先生、多くの村民から温かな歓迎を受け、贈呈後、生徒たちからお礼の言葉と歌が贈られました。また、その前日夜には、スリランカ米山学友会のラクナース会長ら３人のメンバーが駆け付け、国を超えた学友会同士の交流も実現しました。

第 2620 地区米山学友会の篠原暁惠会長は、「今回、スリランカの地方では、子どもたちに必要な文具や図書がとても不足していることを知りました。参加した役員全員、機会があれば、この有意義な事業を続けたいと思っています」と語りました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

Rotary
Zones 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2017年３月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーデネータ
今月号の担当　Zone 1 RC/3 RC

■ 新クラブ設立

ロータリークラブ名　：相模原ニューシティロータリークラブ
地区　：第2780地区
スポンサークラブ名　：相模原ロータリークラブ
承認年月日　：2017年1月25日
日本での承認順位　：2397番目
創立会員数　：38名（男性36名 女性2名）
会長　：大隈 秀仁 様
幹事　：鈴木 高広 様
クラブ連絡先　：〒252-0239神奈川県相模原市中央区中央3-12-3
相模原商工会館5F（スポンサーの相模原RCと同じ）
TEL　：042-753-2020
例会日時＆例会場　：第1&3木曜日 19:00～20:00 にしもぐらホール

■ クラブ数　会員数

	クラブ数	会員数
Zone 1	829	28,694
Zone 2	653	28,153
Zone 3	791	32,931
合計	2,273	89,778

2017年2月12日現在の Rotary Club Centralのデーターによります。
第2ゾーンの数値には GUAM,MICRONESIA,NORTHERN MARIANAS, PALAUが含まれます。

■ BOX登録件数

184件（1．2．3ゾーン合計）

■ BOXとはゾーン1.2.3の公共イメージコーディネーターの発案により開始された「クラウドBOX」の事です。クラブや地区が奉仕事業やロータリー活動の新聞記事を投稿して下さい。<rpicjapan@gmail.com>に「詳細希望」という件名で空メールをお送りいだくと投稿および、閲覧方法が自動返信で届きます。各クラブの奉仕活動の新聞記事を閲覧することができます。

■ 国際協議会で国際ロータリー会長エレクトの講演から

1月16日（月）、米国サンディエゴで開催されたロータリー国際協議会で国際ロータリー会長エレクト、イアン H.S. ライズリー氏（オーストラリア、サンドリンガム・ロータリークラブ所属）が講演し、2017-18年度の会長テーマ「ロータリー：変化をもたらす」を発表しました。

講演は国際ロータリー理事会がロータリー全体のために現在の戦略計画で定めた 3つの戦略的優先事項について以下のように述べられました。

・クラブのサポートと強化については
会員の大半が60歳以上であることにも触れ、若い世代の入会と参加を促す方法をクラブが模索する重要性を訴えました。「若い会員の入会促進に真剣に取り組まなければ、10年後、20年後にロータリーがどうなっているかを想像してみてください」と述べ、クラブ会員の男女のバランスを改善し、平均年齢を下げるよう求めました。

・人道的奉仕の重点化と増加については
ロータリーの6つの重点分野の不可欠な要素の一つが、「持続可能性」であるとして、ポリオ撲滅は、持続可能な奉仕の究極と言えます。その投資が世界的な規模で生み出す恩恵は、長期的であるだけでなく、恒久的であると述べました。

・ロータリー公共イメージと認知度の向上については
一貫したブランドを伝えることの重要性と、ロータリーのストーリーをより効果的に伝えられれば、ロータリー にふさわしい新会員の入会を増やすことができるでしょうし、ロータリーの奉仕でより大きな成果を上げるために協力するパートナー団体を増やすことができるでしょうと述べました。

これらの優先事項をすべてまとめると、一つの言葉になり、それは「持続可能性」です。持続可能性には、あらゆることを支えるもう一つの側面があり、それは、この地球の持続可能性です。持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑止が極めて重要であると訴えました。

さらに、7月1日の新年度開始から2018年4月22日の「アースデイ」までの期間に、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼びかけ、木を植えることで、空気中から二酸化炭素やそのほかの温室化ガスを除去し、地球温暖化のスピードを和らげる効果があると続けました。「この取り組みで120万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があるでしょうし、この取り組みを通じて、この地球に住む人だけでなく、地球そのものを救う責任がロータリーにはあると、私たちが気づくことです」と会長エレクトは訴えました。

（第1ゾーン　ロータリーコーディネーター　酒井正人　函館五稜郭RC）

米山奨学生紹介

たくさんの思い出を有難う！

グリボスタン　アルキンタイさん（北見東RC）

私は北見東ロータリークラブの奨学生になってから、2月で約1年になります。奨学金をもらうようになってから、アルバイトをする必要がなくなりストレスや疲れがなくなりました。勉強をするために日本に留学したので、勉強に集中できる今の環境はとてもありがたいです。ロータリークラブのおかげだと思っています。とても助かっています。ありがとうございます。

私は１１月１日に留辺蘂ロータリークラブの会議に参加しました。留辺蘂へはカウンセラーの山本さんと山口会長の3人で行きました。山本さんと山口会長は私のために時間を作ってくれとても嬉しかったです。当日は私の出身であるウイグルの民族衣装を着て参加しました。今まではみなさんから、日本の文化や伝統を教えてもらっていたので、今回は民族衣装について少し説明しました。日本語はまだ得意ではないので、詳しく説明出来なかったと思いましが、少しでもウイグルのことが伝わっていれば嬉しいです。

そして、約10年前には留辺蘂クラブからウイグル出身の先輩が留辺蘂クラブの奨学生になっていたことも聞きました。皆さんは先輩のことを覚えていて、ウイグルについてたくさん話しました。ある人は「ウイグル人を日本人はとても似ているところがある。親近感があります。」というように言ってくれました。とても嬉しく感じました。

また、留辺蘂クラブの皆さんはイスラム教の私のために豚肉の入っていない料理を作ってくれました。バーベキューのようにして色々なお肉やホタテ、カキを食べました。カキは皆さんに勧められて始めて食べました。とても美味しかったです。

今年の1月２２日に、カウンセラーたちとロータリークラブの事務局員・渋谷さんの茶会に参加しました。お茶会では、濃茶、薄茶、点心という3つの日本のお茶を飲みました。

お茶会では参加者全員が正座をしていました。正座はウイグルでもあります。ウイグルの家にも畳を同じようなものがあり、そこに食べ物を囲んで、みんなで食べる文化があります。日本文化に参加でき嬉しかったです。

残り日本での学生生活は1年になりました。今後もロータリークラブの皆さんと積極的に交流・会話をしていき日本語や日本の文化について勉強していきたいです。また、ウイグルの文化を少しでも伝えられるように頑張ります。最後に、ロータリークラブの皆さんにはとても良くしてもらいました。とても感謝しています。私は学生なので皆さんからの気持ちを勉強・研究で返そうと思っています。皆さんの良い結果を報告できたらいいなと考えています。残り1年は研究に集中して皆さんの気持ちに答えられるような学生でありたいです。

RI2500地区

例会出席率＆会員数推移

2017年1月末報告

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数			
				16年7/1	当月	増減	女性会員
1	礼文	3	79.0	14	14	0	0
	利尻	3	88.0	18	18	0	0
	利尻島	3	71.1	16	15	-1	1
	天塩	3	90.0	9	10	1	3
	豊富	3	96.8	21	21	0	0
	稚内	3	79.4	48	48	0	2
	稚内南	3	89.0	35	37	2	3
	計		84.8	161	163	2	9
2	美深	3	90.8	26	29	3	0
	枝幸	3	81.8	21	22	1	0
	名寄	4	91.5	54	56	2	0
	中頓別	3	82.5	16	15	-1	0
	士別	3	84.8	44	46	2	1
	下川	3	66.7	4	5	1	0
	計		83.0	165	173	8	1
3	旭川	4	74.7	75	80	5	0
	旭川東	3	79.8	38	34	-4	0
	旭川北	3	87.0	40	44	4	3
	旭川南	3	89.2	33	34	1	0
	旭川西	3	80.9	49	54	5	7
	旭川東北	4	86.7	14	16	2	2
	旭川モーニング	4	84.3	26	27	1	5
	旭川空港	4	69.2	12	13	1	4
	美瑛	3	75.0	23	24	1	0
	富良野	3	100.0	42	45	3	2
	上川	3	66.7	12	10	-2	1
	2500REクラブ	4	77.5	20	20	0	0
	計		80.9	384	401	17	24
4	遠軽	4	79.6	38	38	0	1
	紋別	4	67.2	34	34	0	0
	紋別港	4	82.9	36	35	-1	0
	中湧別	3	85.9	11	11	0	1
	興部	2	69.0	16	16	0	1
	雄武	2	79.2	13	12	-1	0
	滝上	3	84.4	17	15	-2	0
	計		78.3	165	161	-4	3

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数			
				16年7/1	当月	増減	女性会員
5	網走	4	85.0	46	47	1	6
	網走西	3	81.3	48	48	0	0
	美幌	4	88.2	54	56	2	2
	北見	3	76.9	53	58	5	3
	北見東	4	89.8	58	58	0	2
	北見西	3	88.1	59	58	-1	0
	清里	4	88.3	30	29	-1	0
	留辺藥	4	81.0	29	28	-1	2
	斜里	3	87.0	39	40	1	3
	計		85.1	416	422	6	18
6	足寄	4	65.3	28	32	4	2
	広尾	3	77.2	18	19	1	0
	上士幌	2	80.0	13	13	0	0
	芽室	4	72.0	33	33	0	0
	帯広	3	83.2	93	92	-1	5
	帯広北	3	78.0	67	69	2	1
	帯広西	3	75.6	72	73	1	3
	帯広東	4	82.3	39	39	0	2
	帯広南	3	79.2	72	77	5	9
	音更	3	67.5	36	39	3	2
	清水	3	87.0	23	24	1	3
	計		77.0	494	510	16	27
7	釧路	4	83.1	97	99	2	0
	釧路東	4	64.0	31	36	5	2
	釧路北	3	81.0	73	79	6	3
	釧路南	3	57.3	25	25	0	5
	釧路西	3	79.0	28	28	0	1
	釧路ベイ	4	87.5	24	22	-2	1
	音別	3	86.0	15	17	2	0
	白糠	4	89.0	9	9	0	0
	計		78.4	302	315	13	12
8	厚岸	2	81.3	16	16	0	0
	別海	4	85.0	16	15	-1	0
	浜中	4	82.0	12	12	0	0
	中標津	3	66.7	22	22	0	1
	根室	4	81.8	37	40	3	1
	根室西	4	80.2	49	52	3	0
	弟子屈	4	71.8	19	20	1	1
	計		78.4	171	177	6	3
総計			80.6	2,258	2,322	64	97

第2500地区全体67クラブ	16年7/1会員数	1月31日会員数	増減	平均出席率
	2,258	2,322	64	80.6%
女性会員数		97		

アトランタでロータリー財団100周年を祝おう!
2016−2017年アトランタ国際ロータリー年次大会ご旅行計画表

3月31日までに登録を戴ければ、早期登録で
最大75ドルの割引が適用されます。

期日: 平成29年6月9日(金)～6月16日(金)の8日間
行先: アメリカ合衆国(アトランタ)
集合: 6月9日(金)午後1時00分、羽田空港第1旅客ターミナル1階到着口

■旅行主催■
オンツーアトランタ委員会
委員長　山本　貴一
携　帯　090-3118-2583
メール　yamakoco-2@aroma.ocn.ne.jp

■旅行企画・実施■
㈱近畿日本ツーリスト北海道北見支店

スケジュール表

	月日曜	発着地	現地時間	交通機関	行　　程	食事
1	6月9日 (金)	羽田空港着 羽田空港発	13:00 17:00頃	連絡バス DL	北海道内(女満別・旭川・帯広・釧路)より空路、羽田空港へ 参加者全員集合し、国際線ターミナルへ 出国手続き後、空路、ロサンゼルスまたはミネアポリスへ	夕:機内
				一日	一付一変一更一線一通一過一	
		ロサンゼルスまたは ミネアポリス空港経由 アトランタ空港着	 21:00頃 22:00	 DL 専用車	到着後、トランジットゲートへ移動 空路、アトランタへ 入国手続きおよび税関検査 深夜、アトランタ市内ホテルへ 【アトランタ泊】	朝:機内 夕:機内
2	6月10日 (土)	アトランタ市内滞在	9:00 13:00 16:00 19:00	専用車	ホテルにて朝食 アトランタ市内観光 ≪キングJR牧師記念館・五輪聖火台・タナー球場 ストーンマウンテン公園・ワールドオブコカコーラ≫ 途中、アトランタ市内レストランにて昼食 【アトランタ国際大会】 国際大会登録(ジョージアワールドコングレスセンター) アトランタ市内レストランにて夕食 【アトランタ泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
3	6月11日 (日)	アトランタ市内滞在	10:30 15:30 19:00	専用車	ホテルにて朝食 【アトランタ国際大会】 ≪開会本会議≫(ジョージアワールドコングレスセンター) ≪友愛の家等国際大会催し物見学≫ アトランタ市内レストランにて夕食 【アトランタ泊】	朝:○ 昼:各自 夕:○
4	6月12日 (月)	アトランタ市内滞在	12:00 13:00 13:00 19:00	専用車	ホテルにて朝食 午前中、フリータイム ≪オプショナルツアーやショッピングにてお楽しみ下さい≫ 【アトランタ国際大会】 ≪会長主催昼食会≫(ジョージアワールドコングレスセンター) ≪分科会≫(ジョージアワールドコングレスセンター) ≪RID2500ナイト≫アトランタ市内レストラン 【アトランタ泊】	朝:○ 昼:別途 夕:別途
5	6月13日 (火)	アトランタ市内滞在	終日		ホテルにて朝食 終日、フリータイム ≪分科会・オプショナルツアーやショッピングにてお楽しみ下さい≫ 【アトランタ泊】	朝:○
6	6月14日 (水)	アトランタ市内滞在	11:00 12:00 14:00 18:00	専用車	ホテルにて朝食 午前中、フリータイム ≪オプショナルツアーやショッピングにてお楽しみ下さい≫ 【アトランタ国際大会】 ≪ロータリー財団100歳の誕生パーティ≫ (ジョージアワールドコングレスセンター) ≪さよならパーティ≫アトランタ市内レストラン 【アトランタ泊】	朝:○ 昼:別途 夕:○
7	6月15日 (木)	アトランタ空港発 ロサンゼルスまたは ミネアポリス空港経由	7:00頃	専用車 DL DL 一日	早朝、アトランタ空港へ 出国手続き後、空路、ロサンゼルスまたはミネアポリスへ 到着後、トランジットゲートへ移動 出国手続き後、思い出を胸に空路、羽田へ 一付一変一更一線一通一過一 【機内泊】	朝:機内 昼:機内
8	6月16日 (金)	羽田空港着	14:00頃	連絡バス	帰国手続きおよび税関検査、国内線ターミナルへ 到着後、解散 北海道内(女満別・旭川・帯広・釧路)へ	

※発着時間及び交通機関は変更になる場合がございます。 ※DL:デルタ航空

ご旅行代金　【参加人員:15名様以上】お一人様 : **478,000円** ※羽田空港発着料金
【参加人員:20名様以上】お一人様 : **458,000円** ※羽田空港発着料金
【参加人員:30名様以上】お一人様 : **438,000円** ※羽田空港発着料金

Rotary

国際ロータリー第 2500 地区
2016 － 2017 年度　ガバナー
駒 形　　曙 美

■ガバナー事務所
〒070-0033　北海道旭川市３条通11丁目　グリーンコーポ三条1Ｆ
TEL.0166-29-5310　FAX.0166-29-5320
E-mail : info@rid2500.jp

2016-17 RID 2500 GOVERNOR
AKEMI　KOMAGATA
■GOVERNOR'S OFFICE
Green Corp. 3jyo 1F, 11-chome, 3-jyo
Asahikawa, Hokkaido, 070-0033 JAPAN
Phone +81-166-29-5310 FAX +81-166-29-5320
E-mail : info@rid2500.jp

http://rid2500.jp